



【青少年育成委員会の活動】



委員研修

2月6日(木) 参加者 19名

委員研修で横須賀方面に。

横須賀では、世界三大記念艦の一つである戦艦「三笠」を見学。日露戦争の日本海海戦におけるバルチック艦隊撃破の活躍で知られる艦です。実物の戦艦がそのまま保存されているとのことで、見学は貴重な体験です。艦内の様々な展示の中でもヴァーチャルリアリティ技術により当時の海戦を体感できるコーナーは圧巻でした。

その後、猿島へと船で向かいました。三笠公園から東へ約2kmの位置にある無人島です。

猿島は幕末から第二次世界大戦まで、東京湾防衛の要塞として重要な役割を果たしてきたとのこと。島内には当時の面影を伝える歴史的遺構が多数あり、煉瓦づくりの発電所や兵舎、砲台、長いトンネルなどを見学しました。案内人の方からは、煉瓦の積み方にフランス組み、イギリス組の違いがあることや、当時の高角砲の活躍についても詳しく解説いただき、島の歴史について理解を深めることができました。

第36回教育懇談会

参加者 26名

「整ってますか? 生活のリズム」

講師 大泉保健相談所地域保健係

保健師・谷内弘美氏

大泉保健相談所員の基調講演では、今の小中学生は推奨されている睡眠時間が足りてないことにより健康に悪影響が出ていることや朝食をしっかりと摂り、日中は運動をして生活のリズムを整えよう等の話がありました。

分科会では、先生・現役の親・委員の人たちで活発に意見を交換しました。

「早寝早起き・朝ごはん」と言われ始めた頃とは違い、今はスマホの登場で、寝る時間が遅くなり朝ごはんを食べずに登校し、授業に身が入らないという悪循環に陥っているということです。

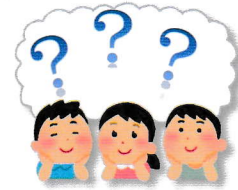
生活のリズムを整える為にきちんとスマホの使用時間を制限している家庭がある一方、それが難しいという家庭が多いようです。

厳しい状況の中でも親世代がきちんとした生活をするることによって大切な子ども達にいい影響を与えて行きたいと思います。

ここ数年、現役の親の方たちの参加が少なくなり貴重な意見がなかなか聞けない状況です。来年はたくさんのご参加を!



い、実は30日以上生きると証明した小学生のように、「これまで覚えた全部、でたらめだったら面白い」と思える視点が大切です。
そのためには、日常の何気ない疑問と一緒に考えたり、常識にとらわれず「どうして?」と問いつける環境を作ることが必要だと思います。
親子で一緒に発見の楽しさを見つけていきます。



日本語がわかる日常でコミュニケーションに困ることはないはずの娘だけでも、「言葉」の壁をいかに乗り越えるかというテーマは私の元にも生きたが故に身についたものなのかな、と思うのです。
※UDトークとは:
練馬区で導入している音声認識アプリ(実は練馬区の会社が開発した地元産)。日本語だけでなく、多様な外国語にも同時に翻訳表示されるので、聞こえない人だけでなく、外国人とのコミュニケーションや

